

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

【基本的な事項】

・ 期待レベルが「基本」の項目(黄色マーク項目)は、必須記載項目です。

カテゴリー		チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	人権尊重を謳う企業行動規範や人権方針を制定。無理解から生じる差別、偏見を起こさぬよう、全役職員に対し毎年異なるテーマで「人権啓発研修」を実施。人権問題も含む相談窓口を設置し社員からの相談を受付。					○			○		○						○	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	社内規程においてハラスメントの防止と排除を徹底するために社員が順守すべき事項等を定め、適宜、当該研修を実施。ハラスメントに関する相談窓口を設置し社員からの相談を受付。					○			○								○	
	3	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	36協定に基づいた厳格な労務管理を徹底することはもとより、時間外労働・過重労働の削減に向けた取組みを推進。								○									
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	無理解から生じる差別、偏見を起こさぬよう、全役職員に対し「人権啓発研修」を実施。人権問題も含む相談窓口を設置し、あらゆる国籍の社員からの相談を受付。				○				○		○							
	5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	月1回「1on1MTG」を開催し、職場環境における課題の早期発見、モチベーション管理、エンゲージメントの向上を図っている。			○					○									
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	メンタルヘルスの不調を未然に防止すること(一次予防)を目的として、毎年全社員を対象としたストレスチェックを実施。高ストレス者には必要に応じ、産業医面談、人事面談を実施。健保内にメンタルヘルスの相談窓口を設置。			○														
	7	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	グループとして、ダイバーシティ&インクルージョンに関するステートメントを公表し、多様な人材の活躍と成長の実現に向けて各種取組みを推進。					○			○		○							
	8	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	みずほFGグループ全体で、健康保険組合と連携し健康経営を推進。			○					○									
	9	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	階層に応じた教育・研修プログラムに加え、自己啓発・キャリアを支援する制度を整備。				○				○	○								
	10	【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	福利厚生、休暇制度、教育訓練においても同一労働、同一賃金の指針に基づき、対応。								○		○							

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	紙使用量の削減を、複合機への認証機能実装や電子化に取り組むなどの施策を打ち出し推進。ごみの分別徹底を図るとともに、廃棄物発生量の削減を推進。											○	○		○			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	グループ全体で定期的にエネルギー消費量を把握するとともに、CO2排出削減目標を設定し、節電を中心とした省エネ対策を講じている。							○						○				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画を策定している(2019年-2030年)。							○						○	○			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	PCB、アスベストにかかる費用等を調査し、年に一度グループ会社へ報告している。			○			○						○	○				
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	環境に関する規程を定め、紙や文具などの消耗品類を中心に「グリーン購入(環境に配慮した物品等の購入)」を推進。						○										○	
16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	大手町本店では、水の再利用を実施(冷却塔補給水やトイレの洗浄水等)。						○											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	—			○			○	○						○	○	○	○	
18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	グループベースで、TCFDレポートや統合報告書の中で自社の環境への取り組みについて情報を開示。													○				
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	—							○							○			
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	—													○	○	○	○	
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	—						○							○	○	○	○	○
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	汚職・贈収賄禁止等を含む規程を整備し、研修等で社内浸透を図っている。																○	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	不公正な取引の禁止等を含む規程を整備し、研修等で社内浸透を図っている。																	○
24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	知的財産管理に関する規程を定め、特許権等関連事項の管理を適切に行っている。								○	○								
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	個人情報保護に関する規程を定め、お客さまや従業員の個人情報の管理を適切に行っている。																	○
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	—																	○
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会	当社の「調達に関する取組方針」に基づき、サプライヤーに対して、法令順守・情報管理・人権尊重・環境配慮等について認識を共有するためレターを手交。					○			○		○		○	○	○	○	○	○

カテ ゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	グループ共通のリスク管理の基本方針にのっとり、リスクを幅広く多面的に捉え、様々な手法を活用してリスク管理の高度化を図る等、リスク管理の強化に努めている。			○									○					
29	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	各種チャネルを通じていただいたお客さまのお声や、各種調査を通じて認識した課題等をサービスや業務運営の改善に活かしている。									○								
30	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	グリーンボンドやトランジションボンド等、環境にポジティブなインパクトを創出する債券の発行支援・引受・販売に取り組んでいる。						○						○	○	○	○		
31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	ソーシャルボンド等、社会課題解決に向けた債券の発行支援・引受・販売に取り組んでいる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	地域のコミュニティとの繋がりを深め、地域と調和した良き企業市民として地域の発展・繁栄に貢献するよう努めている。				○					○		○	○		○	○		○
33	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	学校・企業への出張授業(オンライン含む)や大学・大学院向け寄付講座等金融経済教育・投資教育を支援。地域の活性化に貢献するべく、地域のイベント等に積極的に参加している。				○							○			○	○		○
34	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社会、経済	—								○	○		○	○	○				
35	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内十分に浸透している	基本	社会	社内規程においてコンプライアンス遵守を規定。また、定期的に社員向けにコンプライアンス研修を実施。																○	
36	【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	中期経営計画および年度の業務計画の中で経営理念および経営目標を策定。また、経営者が経営理念および経営目標を社員向けビデオメッセージで伝えている。								○	○								○
37	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	社内規程においてコンプライアンス遵守を規定。また、定期的に社員向けにコンプライアンス研修を実施。																○	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	サステナビリティの所管部を設置しており、環境・社会に配慮した投融資の取組方針やサステナビリティ関連規程整備等を行っている。																○	
39	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	リスク管理の基本方針等の規程を整備し、日次・月次等の定期的なモニタリングを通じてリスクを特定・評価し、適切な対応を行っている。																○	
40	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	応用	環境、社会	「サステナビリティ」への取組に関する基本方針を策定し、サステナビリティの取り組みの基本的な考え方、推進体制や推進方法を定めている。																○	
41	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	ステークホルダー(お客さま、株主、社員、地域社会、仕入先・競争会社、政治・行政)と積極的にコミュニケーションを行い、当社の活動が社会常識と調和し、公正かつ透明なものとなるよう努めている。																○	○
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	事業継続管理の基本方針を定め、緊急時対応の行動計画を策定している。									○		○		○			○	

